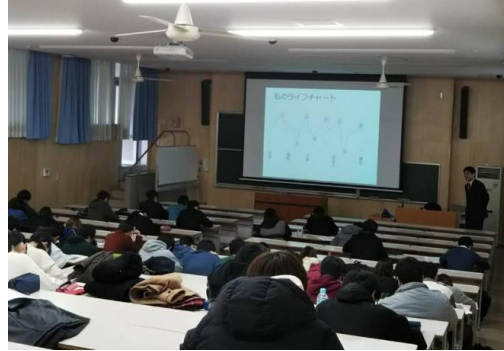




## ジョブ・カードの活用により、キャリアに対する動機付けを促し 将来のキャリア形成を熟慮！



【企業名】 国立大学法人信州大学  
 【所在地】 長野県松本市  
 【設立】 1949年5月  
 【業種】 教育・学習支援業  
 【事業概要】 長野県内5キャンパスに人文  
 学部、教育学部、経法学部、  
 理学部、医学部、工学部、  
 農学部、繊維学部の8学部を  
 持つ総合大学です。

### 導入目的：

ジョブ・カードを活用して自己理解を深め  
就職活動の準備に

### 取り組み内容：

ジョブ・カード活用ガイドのライフチャート  
を用いて将来のキャリア形成を熟慮

### 導入成果：

1年生の早い段階からジョブ・カードを知り  
方向性が明確に

**Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？**

本学の学生は、公務員志望者も多いのですが、公務員といえども、何のために働くのか、入職後のキャリアをどのように展望したらいいのか、民間企業で働く場合も想定しながら考えていく機会を模索していました。そのような時に、大学でキャリア教育を行う立場として参加したセミナーで、長野ジョブ・カードセンターの普及推進員の方と名刺交換しました。後日、ジョブ・カードの内容について詳しい説明をしてもらおうと、キャリアのあり方を振り返り、展望する上で親和性が高いツールであると判断しました。日程調整の上、授業においてジョブ・カード作成支援を依頼しました。

**Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？**

これまでも本学では様々な機会とツールを用いて1年生を対象にキャリア教育を行ってきましたが、主に公務員志望の学生を対象とした授業において、「ジョブ・カード」セミナーを実施しました。通常の授業では、現役の公務員をゲストティーチャーとして招聘し、ワークショップ形式、ディスカッション形式での授業を展開していますが、今回、長野ジョブ・カードセンターより講師を無料で派遣してもらい、ジョブ・カードで自身のキャリアについて振り返りをする機会を得ました。その中でもジョブ・カード活用ガイドの4ページ目、ライフチャートを用いて将来のキャリア形成を熟慮することになりました。今後は個別のキャリアコンサルティング実施に関してジョブ・カードセンターと相談し、前向きに検討中です。

**Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？**

次のような感想が寄せられ、キャリアに対する動機付けや意識改革につながる成果を得ることができました。「ジョブ・カードの存在を知らなかったが、社会の変化、AIの影響、人生100年時代などの話と関係づけながら捉えることで、VUCA時代であるからこそ、自分の人生を見通しキャリアについて考えることの重要性を感じました。」「自分のライフチャートを作成することで、改めて自分のこれまでを振り返るいい機会となりました。」「これから、自分の履歴をきちんと見つめ直していくことの必要性を感じました。」「自分の『今』を知ることで、自分の資質・能力に関して将来的にゆっくりと考えてみたいと思っています。」「大学生の時点でジョブカードの存在を知ることができてよかったです。」